

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第1号

印西市民アカデミー入学式

令和6年4月20日(土)、印西市文化ホール多目的室において第26期生29名の入学式が開催されました。今年度の市民アカデミーでは、印西市内の歴史探訪や市民生活に必要な知識、教養を深めることのできる各種講座を計画しており、学長の板倉正直市長からは、印西市民アカデミーで学んだ知識や経験を生かして、住みよいまち、活力あるまちづくりに貢献していただきたい旨の式辞がありました。式典終了後には学長から「印西音頭」の歌の紹介とともに、印西の近現代史にも触れたお話を伺うことができました。

1年間、楽しく仲良く面白く学んでいきましょう！



講座1：市内めぐり

4月26日(金)、市バスで印西市内の公共施設をめぐるバス旅を体験しました。コースは、印西市役所→木下交流の杜→(小林コミュニティプラザ)→(本埜支所)→本埜スポーツプラザ→印旛公民館→(印旛支所)→(そうふけふれあい文化館)→(中央駅前交流館)→松山下公園総合体育館→印西市文化ホールです。天候にも恵まれ約3時間のバス旅を満喫しました。



令和6年度 印西市民アカデミーだより 第2号

講座2：歴史散策①木下地区

5月25日(土)、木下まち育て塾の伊藤会長を講師にお招きして、木下河岸地区を巡る歴史散策を行いました。木下まち育て塾とは、木下街道の始点であった木下河岸、木下・六軒地区に残る歴史的資料や町屋の保存・活用を通して、まちを元気にしようとする市民が参加・活動する団体です。

木下河岸は江戸から明治にかけ、利根川水運の要衝の地として大いに栄え、文化・文政年間(1804~1830年)には利根川を下って、香取、鹿島、息栖の三社を参拝し銚子の磯を楽しむ、「木下茶船」の旅が大流行し、最盛期には50軒あまりの旅籠や飲食店が軒を連ねていました。さらに明治時代になると蒸気船が就航し、年間約3万人の人が木下に宿泊し、まちは大いに賑わったといえます。しかしその後の成田鉄道の開通による木下駅などの開業と、利根川の河川改修に伴い、木下河岸周辺の家々が木下駅周辺に移転したため、木下河岸はその役割を終えました。残念ながら往時の建造物はほとんど残っていませんが、その痕跡を訪れ、講師の先生に用意していただいた当時の写真を見ながら、栄華を極めた木下河岸地区の歴史を学ぶ貴重な機会となりました。コースは、中央公民館→武蔵屋→旧木下橋→木下河岸跡→山根山不動尊→吉岡問屋倉庫→木下交流の杜歴史資料センター→木下貝層→上町観音堂→木下小学校・印旛高校発祥の地→木下駅→中央公民館です。天候にも恵まれ、心地よい散策となりました。



東洋一を誇った手賀沼排水機場



木下河岸跡の説明版



河岸問屋吉岡家の倉庫



木下貝層で作られた灯籠



二対の狛犬がある山根山不動尊



木下交流の杜歴史資料センター



JR 木下駅の案内説明版



国天然記念物の木下貝層



上町観音堂の庚申塔

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第3号

講座3：印西近現代史について学ぶ

6月15日（土）、印西市文化ホールで『印西市史通史編4近現代』刊行記念として『印西市史編さん講演会』が開催され、市民アカデミーからも学長（市長）、副学長（教育長）をはじめ、25名の学生が講演会に参加してきました。

市史編さん事業は平成25年に始まり、すでに2冊の資料編が発刊されており、それらには明治初年から平成22年の新印西市誕生までの、その時々状況や動きについて後世に伝えるべき資料がまとめられています。今回の通史編はそれら2冊を読み解き、現在の市に至るまでの社会環境の変化や生活の向上などを、140年あまりにわたり総合的にたどり、わかりやすく編さんされたものです。当日は、編さん委員の方々に、今回刊行された『印西市史通史編4近現代』に即した形で、往時の市域の様子をわかりやすく解説していただきました。



講演会の演題は下記のとおりです。

- (1)「市域の自由民権運動・手賀沼の干拓と治水」
- (2)「日記史料から見る流行性感冒（スペイン風邪）大流行への恐怖」
- (3)「まちの発展1954－2010（印西町の誕生から新印西市へ）」

講座4：社会を明るくする運動

6月29日（土）、印西市文化ホールにて「令和6年度社会を明るくする運動・青少年健全育成大会」が開催され、23名の市民アカデミー生が参加してきました。

社会を明るくする運動は、犯罪のない明るい社会をみんなで目指す運動です。犯罪や非行に関わった人が再び過ちを犯さないためには、その人自身が自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直りのために努力することが必要です。しかし、それだけでなく、立ち直ろうと努力する人を受け入れ、見守ることもまた、犯罪や非行のない明るい地域社会につながると考えることができます。



大会では、市内小中学生が日常の家庭生活・学校生活の中で体験したことを通して「犯罪・非行のない地域社会づくり」についてまとめた作文の朗読、薬物やアルコール依存から社会復帰を目指す千葉ダルクの講話・演舞、内野小学校合唱団の演奏、木刈中学校吹奏楽部の演奏発表が行われました。家庭、学校、地域が一体となって「安全で明るい社会をみんなで築いていこう」という強い思いと優しい雰囲気にもまれた大会となりました。

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第4号

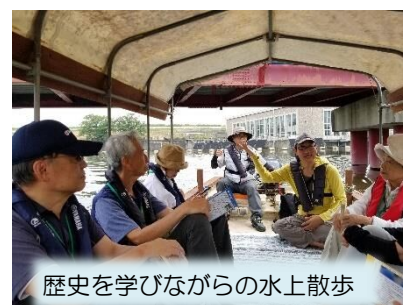
講座5: ぶらり川めぐり

7月6日(土)に「川めぐり」を実施しました。コースは、第1発着場(印西市立中央公民館裏)～弁天川(弁天堀)～手賀川～亀成川(入口)～手賀川～六軒川(六軒堀)～第1発着場の約1時間の行程です。水面に近い目線で見える景色は新鮮で、水辺に住む水鳥等を観察しながら船が進んでいきます。手賀川に入ると川幅が大きく広がり発作地区の広大な水田地帯の向こうには千葉ニュータウン地区の高層ビル群が見えます。発作橋付近には数十羽のコブハクチョウが生息しており優雅に泳ぐ姿を観察できます。六軒川の両岸には、石を積み上げた岸壁跡も残っています。このコースの隠れた魅力は、11本もの橋「六幸橋、弁天橋、六軒水神橋、弁天川橋梁(JR成田線)、弁天水管橋、(無名橋)、弁天大橋、関杵橋、六軒大橋、六軒水管橋、手賀川橋梁(JR成田線)、六軒橋」を真下から見るという体験を味わえることです。

六軒地区は、江戸時代の利根川の東遷に伴い、利根川と手賀沼の接続地として大勢の人と物が行き交い大いに商業が栄え「江戸の台所」と言われました。明治時代には、軽工業が発達し、銀座にも匹敵する商都として大いに賑わいました。「六軒に行けばないものはない」といわれるほど様々な職種の商店が並んでいて、映画館やカフェもありました。

六軒の鎮守は、水神社と巖島神社の二社合祀で、通常は弁天様と呼ばれて親しまれています。巖島神社は、六軒の開拓に携わった宮島勘右衛門が安芸(広島県)の宮島より勧請したものといわれています。境内には、六軒出身の第24代横綱「鳳谷五郎」の立派な碑が建っています。

川面を滑るさやかな風を感じながら、また、のどかな風景に往時の様子を思い浮かべながらの楽しい水上散歩となりました。



歴史を学びながらの水上散歩



発作橋のコブハクチョウ



弁天川橋梁 (JR 成田線)



巖島神社(六軒の弁天様)

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第5号

講座6：印西市議会について学ぶ

7月12日（金）、印西市役所5階の市議会フロアにおいて、議会事務局を講師に市議会の仕組みについて学びました。初めに本日の日程について説明を受けた後、議場傍聴席、委員会室、会派室の順に見学をしました。その後、紅い絨毯が敷き詰められた議場に一礼して入り、予め決めた役割分担の席に着座しました。

各席の前にはマイクが、壁にはモニターが設置されており、厳粛な雰囲気が増してくるなか、役割分担（議長、副議長、会議録署名議員、質問者議員、執行部）の確認を行い、模擬議会開始の時刻を待ちました。

午前11時、模擬議会開始。議長の手際よい円滑な進行により午前11時20分に無事閉会。閉会后、現役の印西市議会議員の皆様から取材を受けました。

※模擬議会の概略は下記のとおりです。

- 議長 ただいまから令和6年第1回印西市民アカデミー議会臨時議会を開会します。なお、印西市議会事務局から撮影の申し出がありますので、これを許します。
- 議長 これから本日の会議を開きます。
- 議長 本日の議事日程については、お手元に配りましたとおりです。ご了承願います。
- 議長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によって、7番 ○○○○議員 8番 □□□□議員 を指名します。
・・・ 中 略 ・・・
- 議長 日程第3、諸般の報告を行います。
本日、市長から議案の送付があり、これを受理しましたので、ご報告いたします。
- 議長 日程第4、一般質問の個人質問を行います。
発言につきましては、地方自治法第132条に規定されております、品位の保持に努めていただきたいと思います。なお、執行部において反問するときは、その旨を告げて私の許可を得たうえで行ってください。
- 議長 1番A議員の発言を許します。
- A議員 （質問）
- 市長 （答弁）
- ※続いてB議員、C議員、D議員、E議員、F議員の質問に対して、それぞれ、教育長、総務部長、市民部長、教育部長、福祉部長が答弁しました。
- 議長 日程第5 アカデミー議会を終えて(感想)を行います。
これから、本日のアカデミー議会についての感想を求めます。副議長は演壇へお願いします。
- 副議長 （登壇・感想）
- 議長 これで本日の日程は、全て終了しました。
会議を閉じます。
令和6年第1回印西市民アカデミー議会臨時議会を閉会します。お疲れ様でした。

